

No. 67

9月定例会 (10月臨時会)

令和3年11月22日

目次

定例会・臨時会の概要	…… 2
議案等審議結果	……… 3～4
議会構成	……… 4
代表質問	……… 5～7
一般質問	……… 8～11
委員会報告	………12～15
議会活動日誌・編集後記	…… 16

やまなし

市議会 だより

9月定例会、及び山梨市議会議員補欠選挙に伴う10月臨時会を開催



～議会用タブレット端末の講習会を開催～

この度、議会のペーパーレス化の推進や業務の効率化を図ることを目的に、議会用タブレットを導入しました。

議会での運用、及び有事の際での活用を目指し、操作方法などを学びました。

9月定例会・10月臨時会の概要

9月定例会では、市長から提案された条例改正、令和3年度一般会計補正予算、令和2年度決算などの審議を行いました。

議案第55号

令和3年度山梨市一般会計補正予算(第34号)

歳入歳出予算にそれぞれ15億6767万6千円を追加するもので、人事異動等に伴う職員給与費や、コロナ対策関連事業の追加、及び事業の見直しなどによる補正予算です。新型コロナウイルス感染対策として、生活困窮者自立支援金給付事業及び64歳以下のワクチン接種に係る体制整備事業について、国庫支出金を活用し、総額1億3413万円余の追加、市単独事業のコロナ対策関連事業としては、牧丘B&G海洋センター空調設備改修事業の他、4事業を実施することとし、総額2173万円余の追加、感染症対策以外の新規事業は、GIGAスクールを確実に推進するため、教職員等をサポートするサポーター委託費として390万円余、つづい幼稚園における英語教育を推進するため、教育ゆめ基金を活用した英語学習関連経費109万円余、事業費の追加については、ふるさと納税寄附額が増額見込みとなることを受け、これに必要となる事業費の追加3億3929万円余、ふるさと輝き基金への積立金10億33万円、各区にある放送・公営施設改築等補助事業費の追加141万円余、不妊治療に要する母子保健事業費の追加120万円、果樹振興費に係る山梨県単独補助事業費の追加1377万円余、小原東東後屋敷線(第2期)道路改良事業費の追加3500万円、南反保地域整備推進事業費の追加1300万円などが主なものです。

※先議された議案第75号の可決に伴い、議長において条項、字句、数字等を整理しています。

市議会議員補欠選挙に伴う10月臨時会を開催

市議会議員補欠選挙(無投票)に伴い、10月11日に令和3年10月臨時会が会期1日間で開催されました。臨時会では、補欠選挙当選議員の常任委員会委員の選任や、東山梨行政事務組合議会議員の補欠選挙などが行われました。

新たな議会構成については、本誌4ページに掲載しています。

●議員紹介



藤巻 豊彦 67歳
尚志会 1期
(令和3年9月27日就任)
下神内川532
農業

山梨市議会議員補欠選挙は、9月19日に無投票となり、市民の代表として市政発展に活躍する議員1人が決定しました。

氏名(敬称略)、年齢、所属会派、
当選回数、就任日、住所、職業

令和3年9月定例会議案等審議結果

9月定例会議案等審議結果（議長を除く）

（賛：議案に賛成 反：議案に反対 棄：棄権）

議案 番号	議案 件名	議員名							萩原 弥香	村田 浩	飯島 力男	星野 洋	古屋 弘和	武井 寿幸	木内 健司	小野 鈴枝	岩崎 友江	向山 輝	審議 結果
		土屋 裕紀	宮川 真有	遠山 雄二	深沢 敏彦	糠信 平	三枝 正文												
第50号	山梨市手数料条例の一部を改正する条例について	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	可決
第51号	山梨市消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部を改正する条例について	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	可決
第52号	山梨市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例について	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	可決
第53号	山梨市道の構造の技術基準を定める条例の一部を改正する条例について	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	可決
第54号	山梨市三富久渡の沢つり場設置及び管理条例を廃止する条例について	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	可決
第55号	令和3年度山梨市一般会計補正予算（第9号）	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	可決
第56号	令和3年度山梨市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	可決
第57号	令和3年度山梨市介護保険特別会計補正予算（第1号）	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	可決
第58号	令和3年度山梨市水道事業会計補正予算（第1号）	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	可決
第59号	山梨市道の路線認定の変更について	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	可決
第60号	山梨市過疎地域持続的発展計画の策定について	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	可決
第61号	訴えの提起について	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	可決
第62号	訴えの提起について	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	可決
第63号	令和2年度山梨市一般会計歳入歳出決算認定について	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	認定
第64号	令和2年度山梨市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	認定
第65号	令和2年度山梨市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	認定
第66号	令和2年度山梨市交通・火災災害共済事業特別会計歳入歳出決算認定について	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	認定
第67号	令和2年度山梨市浄化槽事業特別会計歳入歳出決算認定について	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	認定
第68号	令和2年度山梨市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	認定
第69号	令和2年度山梨市住宅介護予防支援事業特別会計歳入歳出決算認定について	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	認定
第70号	令和2年度山梨市活性化事業特別会計歳入歳出決算認定について	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	認定
第71号	令和2年度山梨市水道事業会計決算認定について	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	認定

代表質問

尚志会

飯島 力男 議員



問 令和2年度決算状況とコロナ対策予算について

①決算額を見ると、コロナとは直接関係のない義務的経費が増加しているが、この要因は何か。
②コロナ対策については、補正予算で直接事業費を計上した他、予備費として計上した部分があるが、コロナ対策への支出結果について伺いたい。

③コロナ対策で、今後、更に対応が必要となった場合の財源措置の考えについて。

市長 高木晴雄

答

①令和2年度より会計年度任用職員を導入し、これらを入件費として分析替えしたことになるものである。

②可及的速やかな対応と公的支援が求められたことから、本

市でも国と同様に予備費を追加し、公共施設のコロナ対策や中小企業等事業者支援などに充用した結果、予備費充用額の約87%、5450万円余をコロナ対策として活用した。

③事業者支援以外にもコロナ対策を講じる必要性があると判断しており、国からの支援金を待つのではなく、市の財政調整基金を積極的に活用し、速やかな対応を行う考えである。

問 万力公園やフルーツ公園の管理運営について

①笛吹川フルーツ公園の次期指定管理者応募に関して、山梨市フルーツパーク(株)は、どのような準備をしているのか。また、出資者である本市は、どのような関わり合いをもって支援しているのか。
②万力公園に指定管理者制度を導入することのメリットとデメリットについて。

③万力公園の今回の指定管理者制度導入にあたっての管理範囲と、その期待について。

市長 高木晴雄

答

①フルーツパーク(株)では、既に昨年度から公募に向けて、

前回の結果を改めて検証し、応募に必要な提案書などの作成を進めている。本市としては、更なる来訪者の増加と、フルーツ王国山梨をこれまで以上に全国へPRし、過去の経験などを通じた助言や今後の地域の果樹振興の展開などの情報提供を行い、連携して取り組んでいく。

②デメリットは今のところ考えられないが、リスクマネジメントを行っていく。メリットとしては、民間ノウハウを活用することで専門的な知識による合理的な管理運営ができ、多様化する利用者ニーズへの柔軟な対応や民間企業が持つ営業スキルを活用し、自主事業などに積極的に取り組むことで利用者の増加が図られ、全体的なコストの削減が考えられる。

③万力公園全体から、市民会館とその周辺、及び差出堰組合が管理しているちどり湖を除いた部分を管理範囲とし、業務としては園内施設の管理、植物の管理、動物の飼育と展示、園内にある文化財の管理などを考えている。導入により、利用者満足度の向上や、更なる来園者の増加に繋がり、本市の活性化が図れることを期待している。

問

スマート農業の推進について
県が実証実験しているスマー

トグラスを活用した果樹栽培のスマート化に関して、効果等が確認された場合、本市はどのように普及させ、導入希望者にどのような支援を行う考えなのか。

市長 高木晴雄

答

今後、スマートグラスをはじめ、新たなスマート農業機器が実用化された場合には、関係機関と協力し、普及体制を整え、県や市の補助制度の活用を含めた支援策を検討していく。

〈その他の質問〉

- 生活応援・消費喚起商品券配布事業について
- 水道管の老朽化対策について
- 小学校・中学校における登下校の安全確保について
- 山梨市教育支援センターについて



▲スマートグラス



問 新型コロナウイルス予防接種の進捗状況と今後について

①8月末時点での65歳以上の接種率について。

②現在進めている64歳以下の接種計画の概要と完了の見通し、また、新たに対象となった12歳から15歳への接種について。

市長 高木晴雄

答 ①8月25日時点で1回目の接種を終了した高齢者の接種率は92・5%であり、その内2回目の接種を終了した高齢者の接種率は90・6%である。

②就労者が多い年代であることを配慮して、土日、夜間の接種を中心に実施する計画を策定した。8月末までに18歳から64歳までの市民全員に接種券の発送を終えており、現状の接種体制とワクチン

の供給見込みから、希望する市民の1回目の接種が11月上旬には完了する見通しである。また、12歳から15歳の子どもの接種対応については、年齢層における効果や安全性、接種後の副反応など、公益社団法人日本小児科医学会の提言を推奨するため、医療機関での個別接種を中心に接種体制を整備する予定で、現在、市内の小児科医と調整を進めている。



▲コロナワクチン

問 南反保地域(アザレアタウン)開発の概要について

「アザレアタウン」という名称が決定した今、改めて整備構想について伺いたい。

市長 高木晴雄

答 整備構想は、区域内にある2路線の都市計画道路の優先

順位と、具体的な整備手法を示しており、都市計画道路北中学校東通り線を優先すること、整備手法として土地区画整理事業、街路事業、狭あい道路拡幅事業の3つの柱となる事業を示している。特に、土地区画整理事業を想定した、山梨市駅と東山梨駅の中間に位置する鉄道の北西側、約20ヘクタールの箇所を重点地区とした。重点地区内では、面的整備に合わせて、立地適正化計画に基づく副次拠点に相応しい「にぎわいと共生の拠点」となる商業施設や、様々な世代が共生できる環境を創出するため、高齢者福祉施設・子育て関連施設などの誘致を考えている。これらの整備を通して「誰もが安心して暮らせる持続可能な街づくり」を目標に、リニア開通を強く意識し、事業展開を図っていく。

問 つつじ幼稚園の今後について

現在の設置条例では「市内在住の幼児」とされているが、「勤務先が市内にある」または「祖父母が市内に在住する」など、市外からの入園もできるように規定を改めたらどうかと提案する。

教育長 澤田隆雄

答 つつじ幼稚園は、山梨高校や加納岩小学校に隣接した文教地域にあり、山梨市駅南北自由通路や駅南口広場整備、周辺道路

整備により安全性も一層向上し、市立産婦人科医院など、子育て・教育環境が整った地域に立地している。このような環境の中へ、市外から一人でも多くの園児を迎えることで、本市への移住者も増えるのではないかと期待もするところである。市外からの入園受け入れについては、前向きな検討を重ね、園児減少の改善に向け取り組みとともに、園の運営を充実させていきたいと考えている。

＜その他の質問＞

- 高木市政4年間の成果と今後の展望について
- 令和2年度決算について
- ふるさと納税の見通しと増収となった要因について
- インボイス制度が与える市内業者への影響について
- 市民会館・花かげホール指定管理について



▲つつじ幼稚園



問 子ども達へのワクチン接種について

安心して勉強や活動をするためには、早期のワクチン接種が必要と考えるが、本市の考え方と計画について伺いたい。

市長 高木晴雄

答 子どもたちを守るためには、周囲の大人がワクチン接種を行うことが重要と考え、市内保育所や幼稚園、小中学校などの職員への接種を推進してきた。また、

保護者世代である20代や30代と高校3年生については、9月から接種ができる予定である。障害や基礎疾患がある子どもたちについては、既に接種を開始している。16歳、17歳の子どもの接種については、9月中旬に接種券を郵送し、医療機関による個別接種と集

問 避難所の体制整備について

①現状の収容可能人数について。
②感染症を踏まえた避難所運営・運用の現状と課題について。
③福祉避難所の体制整備について。
④防災アプリの検討状況について。

防災危機管理課長 玄間達広

答 ①学校や公民館などの公

共施設37か所を指定避難所としており、収容可能人数は1万2986人である。
②避難者や避難所運営スタッフの感染防止対策をいかに行うかが課題となる。密を回避するためには、一人当たりのスペースを広く確保し、十分な換気や、パーティション等を活用した飛沫防止対策が必要となる。また、密にならない受け入れ手順や、発熱者等が来

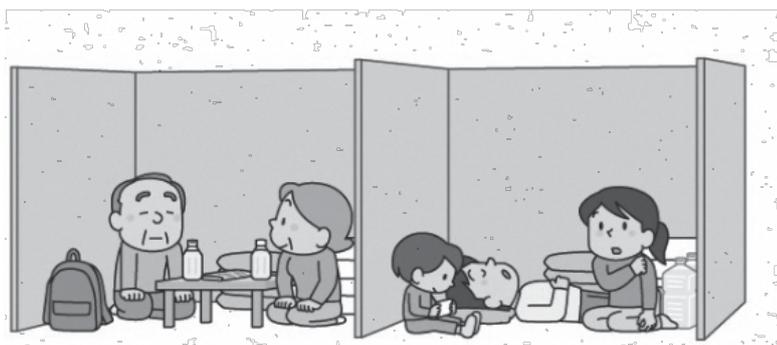
所した場合の受け入れ方法などを確認しておく必要がある。そのため、パーティションや段ボールベットの他、マスクやアルコール消毒液等の備蓄を進め、指定避難所への事前配備を順次行っている。また、毎年、重点地区を定めた避難所開設運営訓練を実施しているため、国が示す避難所開設・運営訓練ガイドラインに基づき、避難所における感染症対策を徹底していく。

③現在、老人健康福祉センターをはじめ、市と協定を締結した民間障害者施設5か所、介護保険施設7か所の合計13か所を福祉避難所としている。今後も、活用可能な施設の拡充に努め、乳幼児、妊産婦などの受け入れについても検討を進め、避難支援体制の充実を図っていく。

④防災アプリは、大雨などで防災行政無線の屋外放送が聞こえ難い気象状況下においても確実に情報を伝えることができ、費用対効果も非常に高いものと考えている。防災行政無線の基地局の更新時期が近づいていることを踏まえ、防災アプリの連携に対応できるシステムへの更新を含め、防災アプリの導入が早期に実現できるように、計画を加速させ、市民の安全安心の確保を図っていく。

＜その他の質問＞

- 脱炭素社会の実現について
- 監査制度について
- 「有限会社みとみ」の指定管理者としてのあり方について
- 中山間地域等直接支払制度について
- 市営小原団地及び日川団地における浄化槽用水道水料金の返金について
- 令和2年国勢調査速報値を踏まえた今後の人口減少対策について



▲避難所



武井寿幸 議員

新翔会

問

旧市役所跡地の活用について
「山梨市グランドデザイン
―地域資源活用構想―」策定を踏
まえ、何か具体的に進捗があるの
か。

市長 高木晴雄

答

国土交通省及び内閣府が開
催する「サウンディング調査」
への参加が認められ、11月には調
査結果が出される。この調査は、
市場性の把握や民間視点の柔軟な
アイデアの収集を図ることが可能
であり、効率的な事業推進を実現
する重要な手法である。今後は、
この調査と並行し、住民等との跡
地活用協議会を組織して、地域経
営を軸とした持続的な本市の発展
を実現する活用を進めていく。

問

桃の生産振興対策について
全国に名を馳せる本市の主
要な桃の生産振興対策について。

市長 高木晴雄

答

桃の販売単価は、高品質
化・ブランド化により増加し
ており、県オリジナル品種の出荷
も本格化するなど、今後の桃の販

売は、これまで以上の高品質化に
大いに期待できる。GAP認証制
度への取り組みとともに、環境保
全型農業、特に4パーミルイニシ
アチブに資する取り組みを一層強
化し、環境に配慮した生産地のイ
メージアップを図り、安全安心な
果樹産地としての確立に取り組ん
でいく。

問

指定管理者制度導入によるメ
リットについて
①市民会館、花かげホール、晴
風園、万力公園の指定管理者導入
により、経費の節減はどの位か
②削減される職員の処遇について。
財政課長 古屋健司

答

①3年から5年と期間の違
いがあるが、指定管理期間中、
概ね7250万円程度の経費削減
を見込んでいる。②正規職員は別
の部署への配属となり、会計年度
任用職員は雇用期間が1年のため
雇用終了となるが、指定管理者へ
の雇用継続などが図られる場合が
ある。

〈その他の質問〉

○「東京2020オリンピック
パラリンピック

「事前合宿中
止による本市の
影響について

○緊急災害時にお
けるJAとの協
力体制について



▲旧市役所跡地



糠信 平 議員

日本共産党

問

高校3年生までの医療費窓口
無料化について

①県内の自治体でも取り組みが
進んでおり、気軽な受診によって
増加した医療費よりも、重症化せ
ず軽度で抑えられた医療費の方が
効果は大きいと判断するが、市の
考えを伺いたい。②若者に対する
重要な支援であることを再度強調
し、改めて高校3年生までの医療
費窓口無料化について、市の考え
を伺いたい。

市長 高木晴雄

答

①気軽な受診による医療費
の増大については、同じ症状
や検査で違う病院を受診する「は
しご受診」や、夜間や休日などの
時間にあえて受診する「コンビニ
受診」などといった受診を懸念し
ているが、窓口無料化は早期の受
診に繋がることでもあり、これに
より重症化を未然に防ぐことは重
要なことであると考えている。②
外来診療よりも比較的重篤な入院

療養費の助成を継続しながら、子
育て支援の観点からも積極的に検
討していく。

問

新型コロナウイルス対策について

①学校・保育園・幼稚園の
職員に対する定期PCR検査を市
独自で実施する考えはあるか。
②本市独自で抗原検査を実施し、
県内に普及拡大のきっかけを作る
考えはあるか。

健康増進課長 矢崎貴恵

答

①保育園・幼稚園の職員に
ついては、県のPCR検査事
業が適用され、全額公費負担で実
施されるため、各園の意向を踏ま
え、導入を検討している。小中学
校の教職員については、症状があ
る職員に対する抗原検査に関する
通知があり、学校の意向を確認す
る中で導入を検討している。市独
自でのPCR検査については、広
域的な体制整備が不可欠であるた
め、実施は困難であると考えてい
る。②保健所や医療機関との緊密
な連携、また広域的な体制整備が
必要となるため、現状、市独自の
実施は困難であると考えている。

〈その他の質問〉

○学校給食費の無
償化について



一般質問



小野鈴枝 議員

市民クラブ

問

ジェンダー平等について

本市におけるジェンダー平等への姿勢について、ジェンダー平等をどのように考え、どのように取り組んでいくのか。

市長 高木晴雄

答

ジェンダーという言葉は、単なる性別ではなく、社会の中で作られた役割としての男女の別があることを表しているが、この社会的認識の中で作られた偏見や社会的役割に、平等性を欠いている部分を変えていかなければならないことが、ジェンダー平等であると考えている。本市では、今年度、第4次山梨市男女共同参画基本計画の策定を進めている。ジェンダー平等には、本市が進めている男女共同参画社会の推進にあたっての課題である、社会的に形成された性差・性別による固定的役割の改善や、偏見そのものの排除など、同一の課題を含んでいく。男女共同参画社会実現への積

極的な推進が、ジェンダー平等への取り組みに繋がるものと考えている。

問

万力公園内動物広場の施設の維持管理について

古くなっている動物広場の建物について、ふるさと納税の財源を使って改築等することを提案するが、考えを伺いたい。

都市計画課長 古屋 亨

答

動物の飼育環境を改善するため、これまで動物の飼育小屋の改修を行ってきた。今後は、施設の長寿命化を考える中で、大規模な改修は必要と考えている。その財源として、ふるさと納税は有効な手段であるため、関係各課と協議の上、研究していく。また、指定管理による民間活力の導入により、これまで以上の動物広場になることも期待している。



▲万力動物広場



星野 洋 議員

尚志会

問

市長の今任期を振り返った感想と「箱もの」と言われる行政用語について

市長の今任期を振り返った感想と「箱もの」と言われる行政用語について、見解を伺いたい。

市長 高木晴雄

答

新型コロナウイルスとの戦いも重なったことから、7つの政策ビジョン関係事業においては、素地を築くに留まった事業もいくつかあるが、これら事業の今後の達成を通じた持続可能な山梨市構築への気概に溢れているところである。また、施設建設に重点を置いた施策は「箱もの行政」と呼ばれるものと認識しており、今後は公共施設マネジメント計画に沿った取り組みを推進していく。

問

「山梨市グランドデザイン—地域資源活用構想—」の中の用語について

将来像「誇れる日本を、ここ山梨市から」について、市長と教育長に、その意味を伺いたい。また、今後の歴史教育充実への考えはあ

るか、教育長に伺いたい。

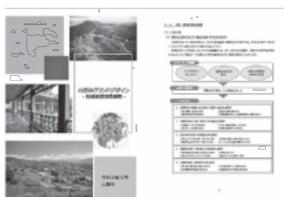
答

本市には人との繋がりが地域コミュニティが根付いており、豊かな自然や景観を含めた多くの地域資源に満たされた本市の姿は、大変誇らしく、市民とともに守り、更に積極的に広く発信していきたいの思いである。また、日本の先端を行くような取り組みにも積極的に挑戦していき、誇れるものを更に生み出していきたいという決意である。

答

教育長 澤田隆雄

本市の持つ魅力を市民とともに全国に積極的に発信していくよう、また、時代の変化に合わせ積極的に挑戦し、誇れるものを生み出していく山梨市を目指しているという、2つの意味が込められていると理解している。歴史教育については、新学習指導要領に基づく新たな教育課程が実施され、目標達成に向けた取り組みを推進している。身近な地域の歴史への理解を促し、郷土への誇りが持てる子ども達の育成を目指しており、それらを尊重していきける子ども達を育んでいきたいと考えている。



▲山梨市グランドデザイン—地域資源活用構想—



宮川真有 議員

新翔会

問 まん延防止等重点措置における協力金および月次支援金について、事業者への情報周知について

新型コロナウイルスのデルタ株のまん延により、本市においても「まん延防止等重点措置」が発令され、市内飲食店などに時短営業や休業、酒類の提供停止などの要請がかかった。

まん延防止等重点措置の発令に伴い、協力金や月次支援金などの内容が示されたが、情報を知らない市民も多く、情報の周知について戸惑いの声が上がっている。これらは、事業継続のための支援策であり、国や県のこのような支援策の周知やフォローを市としてどのように行うのか。

市長 高木晴雄

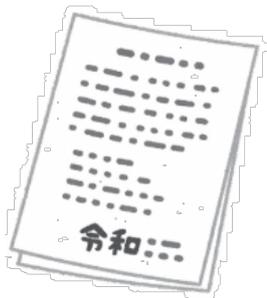
答

要請に応じた事業者に対し、各種支援メニューが整備されているところであり、県では協力金の受付申請を9月中旬から開始

するとしている。市では、いち早く市内事業者が協力金の申請を行えるよう情報収集に努め、県及び国が打ち出す支援策を、分かりやすくホームページに掲載することで、市内事業者への周知を図りたいと考えている。また、昨年度から引き続き、新型コロナウイルスに関連する事業者支援として、山梨市商工会において、会員・非会員を問わず、事業者からの相談に応じるとともに、各種申請のサポートなどにも対応していただいている。今後、商工会など関係機関と連携する中で、事業者への情報提供、各種サポートに努めていく。

〈その他の質問〉

- 創業間もない事業者への支援について
- ワイン特区におけるワインパミス活用について
- 地域通貨の活用について
- 埋蔵文化財の専門職員の拡充について



木内健司 議員

公明党

問

福祉避難所の指定が促進されるよう、災害対策基本法施行規則が改正され、予め受け入れ対象者を特定し、本人とその家族のみが避難する施設であることを公示する制度が創設された。

①本市には、現在13か所の福祉避難所があるが、福祉避難所の指定及び公示に向け、協定内容の見直しなど行う予定はあるのか。②福祉事業者へのBCP（事業継続計画）作成等に対する本市の取り組みについて。

市長 高木晴雄

答

①受け入れ対象者のリストアップや個別避難計画を作成する中で、関係部署で十分協議をし、災害発生時に対象者が円滑に避難できるよう取り組みを推進していく。その際、指定避難所として整備が必要と認められる場合には、協定内容の見直し等を行い、福祉避難所の指定、公示を行っていく。②BCP作成について、県による周知及び作成依頼がされて

いるが、市としてもBCP作成の有無によって福祉避難所の設営に大きな影響を及ぼすことを考慮し、今後、県とともに福祉事業者へ作成を促していきたいと考えている。

問

災害対策基本法改正に伴う本市の取り組みについて

防災危機管理課長 玄間達広

答

国のガイドラインに示された内容に合わせて整備する必要があるため、先進事例等を研究し、関係部署が共同するとともに、介護・福祉専門職の参画を得る中で、計画の策定体制を整えていく。また、優先度を検討し、ハザードマップの特別警戒区域に住む市民など、災害リスクの高い方から、よりきめ細やかな個別避難計画の作成に取り組んでいく。

〈その他の質問〉

○市立窪平保育園について



▲避難情報

一般質問



遠山雄二 議員

新翔会

問 子育て世代に対するコロナワクチン接種について

①ワクチン接種対象外の12歳未満の子ども達を守るための本市における対策について。②一時保育の利用料の無料化や、一部の接種会場に無料託児スペースを設けるなど、子育て世代へのワクチン接種に向けた本市の対策について。

市長 高木晴雄

答 ①保育園や小中学校などの職員への優先接種を進め、家庭内感染防止の観点から、子育て世代の20代、30代への接種を9月中旬から開始する。②一部の接種会場に予約制で乳幼児対象の無料託児スペースを設けることとし、ファミリー・サポート事業や一時保育の利用等については、接種予約が完了した方と相談の上、個別対応していく。利用料については、今後、無料化の方向で検討していく。

問 街灯・防犯灯設置について

ゼロカーボンシティ宣言後の取り組み状況と、市内の太陽光

LED化の進捗について。
総務課長 小田切 聡

答 新設の公共施設は完全LED化とし、既存の公共施設はLEDへの更新を推進している。太陽光LED化の進捗については、小原スポーツ広場へ11基設置し、各区防犯灯のLED化への更新については、補助事業により、987基の取り替えが完了している。

問 水路の氾濫について

①水路の氾濫により被害が出た、または被害が出そうな地域の把握及び対策について。②水門などの調整に係る休日の対応・管理などについて。
建設課長 鶴田圭司

答 ①市民や地区役員からの通報・連絡 及び職員の巡回により把握している。流水の管理不備と、流れを阻害する障害物が氾濫の原因であると考え、それぞれ対策を講じている。②休日も含め、予測できる範囲で堰管理者へ事前連絡し、水量調整を依頼している。緊急時には、区役員から堰管理者への連絡により、水門調整を行っている。



▲水路氾濫



萩原弥香 議員

公明党

問 重層的支援体制整備事業について

①重層的支援体制整備事業に対する取り組みについて。②全世代型の総合的な相談・支援のための「福祉総合相談課（仮称）」の設置について。③全世代型の居場所づくりとなる「地域子ども食堂（仮称）」を各学区に1か所の開設を望むが、所見を伺いたい。

市長 高木晴雄

答 ①来年4月に既存の枠組みを生かした相談支援体制を整備し、重層的支援体制整備事業への移行準備事業を開始したいと考えている。②重層的支援体制整備事業実施に向けた協議と併せて検討していく。③子ども食堂の開設団体等に対する補助制度を設けており、広報で事業者を募集した。複数の事業者から問い合わせがあり、今後、開設に繋がることを期待している。子ども食堂は、地域全体の居場所づくり、地域づくり

に繋がるものと考えている。

問 「地域公共交通活性化」について

①高齢者等による運転免許証自主返納の現況と、市民バス乗車券申請率及び活用率について。②地域公共交通計画が実施され、利用できるのはいつ頃か。③高齢者への買い物や通院支援のためのタクシー券の配布について。

市長 高木晴雄

答 ①自主返納者数は、令和元年度165人、令和2年度138人であり、この内バスの回数券補助申請者は、令和元年度98人、令和2年度96人である。活用率は、年間平均で12・6%程度である。②令和6年度になるものと考えているが、1年前倒しができよう全力で取り組んでいく。③地域内交通体系確立までの高齢者の移動手段確保策として、タクシー券の限定的配布や、コロナ禍における事業者支援の視点も踏まえた支援施策を検討していく。

〇その他の質問

〇コロナワクチン接種体制について

〇公立保育園におけるRSウイルス感染対策について



総務常任委員会

付託議案

- 議案第50号 山梨市手数料条例の一部を改正する条例について
- 議案第51号 山梨市消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部を改正する条例について
- 議案第52号 山梨市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例について
- 議案第55号 令和3年度山梨市一般会計補正予算(第4号)関係付託部分
- 議案第56号 令和3年度山梨市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)
- 議案第60号 山梨市過疎地域持続的発展計画の策定について
- 議案第76号 令和3年度山梨市一般会計補正予算(第5号)関係付託部分

総務常任委員会

- ◎飯島 力男 ○村田 浩
- 矢崎 和也 糠信 平
- 古屋 弘和 岩崎 友江

○「議案第51号 山梨市消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部を改正する条例について」

問 消防団員の条例定数を1053人から1千人と改めるとのことだが、1千人とした理由を伺いたい。また、消防団の再編状況についても併せて伺いたい。

答 定数については、現在の実人員数931人を条例定数と定めてしまうと、柔軟な運用ができなくなることから、余裕をもった条例定数とした。また、消防団の再編については、効率的な消防活動ができるよう「山梨市消防団再編計画」に基づき再編を進めており、直近では、岩手分団が、今年の4月に4部体制を1部体制に再編した。

○「議案第55号 令和3年度山梨市一般会計補正予算(第4号)関係付託部分について」

問 歳入寄附金の内、ふるさと納税寄附金について、今後のふるさと納税の寄附額を更にするための施策等を伺いたい。

答 ふるさと納税については、各自自治体において競争が激化しており危機感を感じている。地域のブランド化や魅力ある返礼品の発掘を図るとともに、積極的にPRを行い、ふるさと納税額の増



▲総務常任委員会での審査の様子

額につなげていきたい。

○「議案第60号 山梨市過疎地域持続的発展計画の策定について」

問 新法により、今回策定された過疎地域持続的発展計画で、新たに追加された施策について伺いたい。

答 新たな計画には、移住・定住に関する事、人材の育成、子育て環境の確保、再生可能エネルギー利用の推進を新たに施策として追加した。

○「議案第76号 令和3年度山梨市一般会計補正予算(第5号)関係付託部分について」

問 歳入について、まん延防止措置協力事業者等応援金事業に、国の特定財源と一般財源が充てられているが、補正予算の規模はどのように決められたのか、また、不足する一般財源の充当内容について伺いたい。

○「議案第76号 令和3年度山梨市一般会計補正予算(第5号)関係付託部分について」

答 国が示した本市に配分される地方創生臨時交付金の上限額を基準に、補正予算の予算規模を決めたところであるが、その内、必要となる一般財源については、令和2年度一般会計決算における実質収支額が確定したことで、この繰越金をもって措置することとした。

※現地視察として、山梨市防災倉庫の視察を行った。



▲山梨市防災倉庫の視察の様子

建設経済常任委員会

付託議案

- 議案第53号 山梨市道の構造の技術基準を定める条例の一部を改正する条例について
- 議案第54号 山梨市三富久渡の沢つり場設置及び管理条例を廃止する条例について
- 議案第55号 令和3年度山梨市一般会計補正予算(第84号) 関係付託部分
- 議案第58号 令和3年度山梨市水道事業会計補正予算(第1号)
- 議案第59号 山梨市道の路線認定の変更について
- 議案第61号 訴えの提起について
- 議案第62号 訴えの提起について
- 請願第4号 「適格請求書等保存方式(インボイス制度)」について、シルバー人材センター事業に及ぼす影響が極めて大きいことから、安定的な事業運営が可能となる適切な措置を講じるための請願書
- 議案第76号 令和3年度山梨市一般会計補正予算(第5号) 関係付託部分

建設経済常任委員会

- ◎三枝 正文 ○木内 健司
- 遠山 雄二 星野 洋
- 武井 寿幸 小野 鈴枝

○「議案第55号 令和3年度山梨市一般会計補正予算(第84号) 関係付託部分について」

問 やまなし産地パワーアップ事業について詳細を伺いたい。

答 やまなし産地パワーアップ事業は、農業者個人に、どのような簡易雨除けのトンネルメッシュ等の高収入の作物栽培体系へ転換を図るための施設整備に対し、2分の1の補助を行う。今回の申請は全部で27件であり、内26件がトンネルメッシュ、1件がハウス施設となる。地区的には牧丘、八幡、山梨地区であり、今年の秋以降に設置を行う。

問 やまなし未来農業応援事業について詳細を伺いたい。

答 やまなし未来農業応援事業については、地球温暖化対策に繋がる農業分野での脱炭素化を進めるための取組である。具体的には、剪定クズを釜に似た無煙炭化器で燃やし、炭にして地中に埋

問 令和3年度は未だ半年あまりしか過ぎていないが、なぜ、

めることで、大気中の二酸化炭素の増加量と相殺し、カーボンニュートラルを実現するための、4パーミルイニシアチブの取り組みである。この取り組みに必要な無煙炭化器の整備に対し、補助をするものである。補助は、3戸以上の農家の団体等を対象に行っている。



▲建設経済常任委員会での審査の様子

橋梁長寿命化及び耐震化事業、小原東東後屋敷線(第2期)道路改良事業について、令和4年度に繰越明許を行うのか伺いたい。

答 橋梁長寿命化及び耐震化事業に関しては、現在、委託業務を行っている。その中で橋梁の橋台や橋脚の補強を行った場合、今よりボリュームが増え河川に影響を及ぼすこととなる。そうした場合、河川を管理する国土交通省の基準に合わせて、工法の選択などを協議する必要が生じる。また、河川の流れにどのように影響を及ぼすのかといった流量解析が求められる。このような分析や国土交通省との協議に時間がかかるため、予め明許繰越を行うものである。

また、小原東東後屋敷線(第2期)道路改良事業については、未契約の地権者が1件あり、事業には理解を頂いているが、地権者側で解決して頂く課題があり、これを進めて頂いている。併せて、建物の

新築・撤去を行わなければならないが、建築資材となる木材が不足している状況であり、仮に来月に契約となった場合でも、建物の新築・撤去を年度内に完了することが難しいため、明許繰越を行うものである。

※現地視察として、アザレアタウン(通称・南反保地域)の整備構想予定箇所の視察を行った。



▲アザレアタウン整備構想予定箇所の視察の様子

決算特別委員会

付託議案

- 議案第63号 令和2年度山梨市一般会計歳入歳出決算認定について
- 議案第64号 令和2年度山梨市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について
- 議案第65号 令和2年度山梨市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について
- 議案第66号 令和2年度山梨市交通・火災災害共済事業特別会計歳入歳出決算認定について
- 議案第67号 令和2年度山梨市浄化槽事業特別会計歳入歳出決算認定について
- 議案第68号 令和2年度山梨市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について
- 議案第69号 令和2年度山梨市居宅介護予防支援事業特別会計歳入歳出決算認定について
- 議案第70号 令和2年度山梨市活性化事業特別会計歳入歳出決算認定について
- 議案第71号 令和2年度山梨市水道事業会計決算認定について
- 議案第72号 令和2年度山梨市簡易水道事業会計決算認定について
- 議案第73号 令和2年度山梨市下水道事業会計決算認定について
- 議案第74号 令和2年度山梨市病院事業会計決算認定について

決算特別委員会

- ◎武井 寿幸 ○岩崎 友江
- 宮川 真有 三枝 正文
- 萩原 弥香 飯島 力男
- 小野 鈴枝

○「議案第63号 令和2年度山梨市一般会計歳入歳出決算認定について」

問 241億3074万円余の歳入に対し、233億9173万円余の歳出であり、翌年度へ繰り越すべき財源を控除した実質収支額は、5億8233万円余であった。健全化判断比率については、実質公債費比率が11・4%、将来負担比率が87・2%であり、令和2年度決算については、全体的に見ても概ね良い決算であると思われるが、市の見解も伺いたい。

答 令和2年度の一般会計を中心とした普通会計決算状況は、コロナ禍の非常事態の中、各課の協力を得た上で、コロナ禍において求められていた感染症拡大防止を含めた対応等について、概ね迅速な対応ができたと考えている。財政健全化法の指数に関して、実質公債費比率が、前年度より0・4ポイントと微増となった

が、将来負担比率は、29・9ポイント下がり、大幅に改善している状況を見ると、本市の努力が読み取れると思う。しかし、ここ数年は社会保障関連経費を含めた義務的経費の割合が高くなっている。

これにより、経常収支比率の上昇が懸念されることから、財政の弾力性を保持する努力をしなければならぬと考えている。今後、経常経費が会計全体に占める割合を減らすためにも、例えば電気の省電力化など、一つ一つの小さな積み重ねを行うことで、経常経費の縮減と財政の健全化を図っていきたいと考える。

※実質公債費比率…地方公共団体の借入金（地方債）の返済額（公債費）の大きさを、その地方公共団体の財政規模に対する割合で表したものである。

※将来負担比率…地方公共団体の借入金（地方債）など、現在抱えている負債の大きさを、その

地方公共団体の財政規模に対する割合で表したものである。

※義務的経費…歳出の内、その支出が法令などで義務付けられている経費として、人件費や扶助費、公債費のことを言う。

※経常経費…人件費や物件費、扶助費、公債費など、毎年度連続して固定的に支出される経費のことを言う。

○「議案第73号 令和2年度山梨市下水道事業会計決算認定について」

問 下水道の整備率はどのくらいか。また、加入促進補助金についての内容と下水道への加入促進を図るため、制度を見直す考えはあるのか伺いたい。

答 令和2年度末までの下水道事業の処理区域面積は873・4ヘクタールとなり、全体計画における処理区域面積の64・57%が整備済である。また、

現在の補助制度は、供用開始から1年以内に下水道へ接続工事をする方、供用開始3年以内に汲み取りトイレを水洗トイレに改造する工事をする方、供用開始区域内にあり平成12年6月以降に設置した合併浄化槽を廃止し、公共下水道に接続工事をする方、供用開始区域内の65歳以上のみの世帯で公共下水道に接続工事をする方が、申請により補助率3分の1、最高10万円を補助する制度であるが、令和3年度で終了するため、今後は加入促進につながる前向きな補助制度の検討を行っていききたい。



▲決算特別委員会での審査の様子

議会活動日誌

9月

- 令和3年9月定例会（8月19日～9月17日）
- 新100歳長寿者慶祝訪問（14日）
- 議会運営委員会（16日）
- 議員全員協議会（16日）
- 山梨市長選挙及び山梨市議会議員補欠選挙
当選証書付与式（27日）
- 議員徽章貸与式（27日）

10月

- 山梨市長対面式（1日）
- 山梨市立岩手小学校秋季大運動会（2日）
- 山梨市立八幡小学校秋季大運動会（2日）
- 会派代表者会議（5日）
- 議会運営委員会（8日、25日）
- 議員全員協議会（8日、25日）
- 議会基本条例検証会（8日）
- 令和3年10月臨時会（11日）
- 市制施行16周年記念式典
（令和3年度 市政功労者表彰及び感謝状贈呈式）
（15日）
- 「SideBooks」利用者講習会（18日）
- 第266回山梨県市議会議長会定期総会（20日）
- 議会だより編集委員会（25日）



11月

- 令和3年度山梨市義務教育振興会議（9日）
- 議会運営委員会（24日）
- 議員全員協議会（24日）
- 令和4年度税制改正に関する提言に伴う議長面会
（25日）
- 令和3年12月定例会（11月26日～12月21日）



議会を傍聴される方へのお願い

傍聴される際は、下記事項をお守りください。

- ①体温チェック、アルコール消毒、マスクを着用してご入場ください。
- ②携帯電話の電源をお切りになるか、マナーモードへの切り替えをお願いします。
- ③議場内での撮影・録音はご遠慮ください。
- ④体調が優れない方は、傍聴をご遠慮ください。

※山梨市議会では、感染症対策として、傍聴席の座席数を一部制限しています。皆さまのご理解とご協力をお願いします。



12月定例会開催予定

- 11月26日(金) 本会議(開会)
- 12月9日(木) 本会議(代表質問)
- 10日(金) 本会議(一般質問)
- 13日(月) 常任委員会
- 14日(火) 常任委員会
- 21日(火) 本会議(閉会)

※全日程午前10時から開会予定

「QRコード」読み取りで会議録などの情報を見ることができます。



編集後記

いつも「議会だより」をお読みいただき、ありがとうございます。

猛威を振るい続けた新型コロナウイルスの新規感染者数が、全ての都道府県で減少傾向にあります。これは、ワクチン接種の効果が大きいこともあり、一人一人のリスクを下げる行動によるものと思っております。

市民の皆様におかれましても、少しでも長くこの状態を保ち、次の波を抑えるため、引き続き気を緩めず、感染防止対策を継続して、いつもの日常を早く取り戻しましょう。

三枝 正文

議会だより編集委員会

- | | |
|------|-------|
| 委員長 | 飯島 力男 |
| 副委員長 | 萩原 弥香 |
| 委員 | 岩崎 友江 |
| | 三枝 正文 |
| | 矢崎 和也 |
| | 土屋 裕紀 |